



市川レポート

2021年4-9月期決算の総括と市場の受け止め

- 4-9月期は途中経過の状況と変わらず大幅な増収増益に、コロナによる業績低迷の反動が継続。
- 企業は2021年度の業績について増収増益の着地を予想、ただ市場が期待する水準には届かず。
- サプライチェーンの混乱収束などが確認される状況となれば日本株の上昇余地は拡大する見通し。

4-9月期は途中経過の状況と変わらず大幅な増収増益に、コロナによる業績低迷の反動が継続

東証株価指数（TOPIX）を構成する3月期決算企業（金融とソフトバンクグループを除く）のうち、11月16日時点までに4-9月期の決算発表を終えた企業は1,300社を超えました。企業数ベースの進捗率は99%台に達し、決算発表はほぼ終了しました。そこで、今回のレポートでは、集計データに基づき4-9月期決算を総括し、現時点で市場は決算の結果をどう受け止めたか、検証します。

2021年4-9月期の実績は、前年同期比で売上高は15.7%増、営業利益は101.8%増、経常利益は117.5%増、純利益は167.1%増と、11月9日付レポートでお伝えした途中経過から変わらず、大幅な増収増益となりました。コロナの影響で業績が低迷した前年からの反動が4-6月期以降も続いているとみられ、製造業・非製造業の区分では、製造業の業績がよりしっかりと回復しています（図表1）。

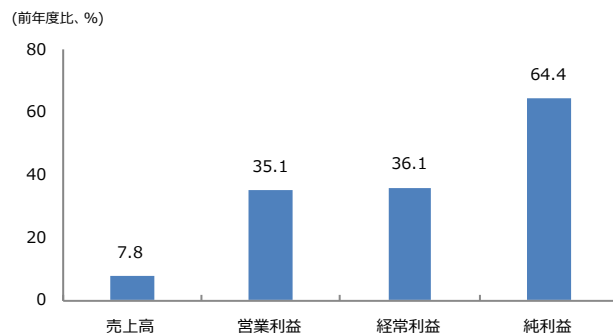
【図表1：2021年4-9月期の実績と進捗率】

2021年4-9月期の実績（前年同期比）				
	売上高	営業利益	経常利益	純利益
全体	15.7%増	101.8%増	117.5%増	167.1%増
製造業	21.0%増	167.0%増	164.9%増	227.8%増
非製造業	9.7%増	30.6%増	72.4%増	108.4%増
2021年4-9月期の進捗率				
	売上高	営業利益	経常利益	純利益
全体	48.5%	54.6%	58.7%	61.5%
製造業	48.6%	56.8%	59.3%	61.4%
非製造業	48.1%	50.9%	57.6%	61.6%

（注） 2021年11月16日時点の集計。対象はTOPIXを構成する3月期決算企業（金融とソフトバンクグループを除く）。

（出所） QUICKなどのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【図表2：2021年度の業績予想】



（注） 2021年11月16日時点の集計。対象はTOPIXを構成する3月期決算企業（金融とソフトバンクグループを除く）。

（出所） QUICKなどのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



企業は2021年度の業績について増収増益の着地を予想、ただ市場が期待する水準には届かず

次に、企業による2021年度の業績予想について確認します。業績予想を公表している企業について、入手できるデータに基づき集計したところ、前年度比で売上高は7.8%増、営業利益は35.1%増、経常利益は36.1%増、純利益は64.4%増という見通しが示されました（図表2）。業績予想の改定率は、順に+2.1%、+6.5%、+12.5%、+18.0%で、全体として上方修正の動きが確認されます。

11月9日付レポートでの途中経過に比べると、2021年度の業績予想については、増収増益の度合いが強まり、改定率も上昇しました。ただ、市場の予想値と企業の予想値との乖離率をみると、売上高は-0.1%、営業利益は-4.8%、経常利益は-5.0%、純利益は-4.4%となっており、途中経過の時点から乖離は若干縮小したものの、依然として市場が期待する水準には達していません。

サプライチェーンの混乱収束などが確認される状況となれば日本株の上昇余地は拡大する見通し

進捗率については、売上高が48.5%、営業利益は54.6%、経常利益は58.7%、純利益は61.5%となり、利益については4-9月期の目安となる50%を上回りました（図表1）。以上より、2021年4-9月期決算は、総じて良好な内容と判断されますが、株価の動きはやや控えめで、決算発表が本格化する前の10月22日から11月17日までの期間、日経平均株価は3.1%の上昇、TOPIXは1.8%の上昇にとどまっています。

今回の決算では、サプライチェーン（供給網）の混乱が業績に影響したとする企業も多くみられたため、混乱長期化のリスクシナリオへの警戒が一定程度、株価の重しになっていると推測されます。今後は、①サプライチェーンの混乱収束、②資源価格の上昇一服、③インフレ懸念の後退、が確認される状況になれば、日本株の上昇余地は拡大する公算が大きいと考えています。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。■当資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会